

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

 国際アート&デザイン専門学校

学校評価委員会

## 「平成 26 年度学校関係者評価」の実施結果と今後の課題

1. 学校法人新潟総合学院 国際アート&デザイン専門学校における「平成 26 年度 学校関係者評価」は、平成 26 年 7 月 18 日に学内評価委員による自己点検評価を実施し、平成 26 年 10 月 31 日に教職員全員による自己点検評価の確認会を実施した。平成 26 年 11 月 14 日には、学校評価委員会を開催し広く意見交換を実施した。各委員からの意見を集約し、学校評価委員 3 名と学内評価委員 2 名の計 5 名で学校関係者評価を実施し、本書の通り報告書をまとめた。
2. 全国専門学校経営研究会版「作成マニュアル」の自己点検・評価基準をベースに自己点検・評価を行い、不備な点等の改善について今後の方向性を協議するとともに、次年度以降の取り組み課題を明確にした。
3. 平成 25 年度学校関係者評価を受け、平成 26 年度の学校関係者評価を実施し、一定の方向性を持って学校評価を進めていくことにより、質の保証・向上のなお一層の取組充実が図れるよう努めていきたい。また、文部科学省の諮問機関である中央教育審議会の答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（平成 23 年 1 月 31 日）にも対応できる体制を整えていくこととする。

## 学校関係者評価報告書（学校関係者評価委員会）報告

### 1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標自己点検・評価項目 ・教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等

#### 建学の精神

「教育、文化を通して地域社会、国家の発展に寄与する。」

#### 教育方針

本校はデザイン・エンターテイメントにおける技術と知識の習得を基に実社会において優れた人材として活躍できる人間の育成を目標とする。

- ①デザイン・エンターテイメントにおける創造力及び実践技術の向上と育成
- ②豊かな人間性と礼節を重んじる社会人の育成
- ③建設的な強い意志を持ち行動力に富んだ人間の育成

#### 校訓

誠実 明朗 進取

建学の精神を基礎に、教育方針、教訓等が明文化されており、学生の手引き、学校パンフレット、ホームページ上でも公表されている。今後は、保護者会等の行事で配布する資料等においても、積極的に教育目的・目標を公表の上アピールしていくことも重要である。今後は、年間学校行事スケジュールを、学内周知だけではなくホームページにも明確に掲載していく。

## 2 教育の内容 自己点検・評価項目

### ・教育カリキュラムの作成について

学科毎にカリキュラム作成委員会を設置し、業界関係者にも参画頂きながら教育課程の編成を行ってきた。平成 26 年 11 月 14 日に平成 26 年度 第 2 回教育課程編成委員会を開催し、今年度の実習内容を振り返るとともに年度末までの実習と指導方法、評価について協議した。業界団体や企業等が参画した委員会の設置により、実践的な教育課程を検討し更に改善を図っていく。

#### 【委員からの意見】

・職業実践専門課程の取り組みで、より実践的な内容で取り組んでいると思うが、業界連携で地域のために貢献できる人材育成に努めて頂きたい。

### ・カリキュラムの作成等の取り組みについて

年間のカリキュラム予定と講義内容が作成されており、その目標は学生に対して明確に伝達しているので、現状を継続していく。

### ・教授学習プロセスの改善への取り組みについて

授業内容の改善や学生によるアンケート、授業評価の結果に基づく学校側の改善活動は、教育上必要不可欠である。学生の授業評価は今後も実施して指導・改善していくことはもちろんのこと、各教員に対する研修や授業観察を平成 26 年度から実施していくこととした。

### ・業界ニーズに対応した付加的教育について

外部団体との連携で付加的教育を実現している。就職指導やキャリア教育の一環として適切に取り組んでいる内容が多いが、今後は他の高等教育機関との連携講座の実現に取り組んでいく。

#### 【委員からの意見】

・他の高等教育機関（大学等）との連携の可能性はあると思うので、分野を絞って模索すべきである。特にゲーム開発の分野での可能性はあると思う。今後も情報交換を行っていく。

### ・教員の資質維持や向上について

教職員の資質を維持しその専門性や指導能力の向上を図るためにも、教職員に対する研修は必要不可欠である。教員一人ずつの年間研修計画を作成しているが、今後はより専門性の向上を目指して取り組んでいく。

#### 【委員からの意見】

・指導者向けの研修の機会を増やし、教職員の資質向上に取り組むことで教育課程の編成時にも役立てることができると思う。

## 3 教育の実施体制 自己点検・評価項目

### ・教育環境の整備・活用について

学内外実習時の安全対策について学生の手引きや実習マニュアルに記載するよう改善する。

## 4 教育目標の達成度と教育効果 自己点検・評価項目

### ・教育目標達成への取り組みと評価について

卒業 1 年後の就業状況の把握については不十分な点がある。企業訪問や同窓会等を利用してその把握に努める必要がある。特に早期離職については社会的問題でもあるので卒業生の現況を知る必要がある。

### 【委員からの意見】

- ・早期離職の原因としては、職業に対しての理想と現実のギャップがあると思われるので、実践的教育実習やインターンシップにより業界を知ってもらう機会となると思われる。
- ・卒業1年後の卒業生状況を知ることは、これから就職しようとする学生 mismatches を防ぐことにも繋がると思う。

## 5 学生支援 自己点検・評価項目

### ・学生支援の整備について

学内にキャリアサポートの有資格者はいないが、キャリア推進事業部との連携により、学生支援指導を充実させている。学内での就職研修の開催と、個別面接指導においては常にキャリア推進事業部と連携しているので、現状を継続する。また、希望があれば卒業生に対しても職業紹介を実施しており、卒業生に対しての支援は昨年度からの改善項目となっている。

### ・上記以外を通じての学生支援について

保護者の会及び企業の会は組織化されていない。年間を通して保護者会は開催されており、希望する場合には個別説明会も開催している。保護者の会の設立については、専門学校への保護者理解は必要となるので今後検討していく。企業の会の設立については、教育編成委員会メンバーを中心に今後検討していく。

## 6 社会的活動 自己点検・評価項目

### ・社会活動への取組について

地域貢献活動やボランティア活動等は積極的に取り組んでいるが、公開講座等の開催はなかった。しかしながら、小学生・中学生向けの「お仕事体験」講座を実施している点や、地域の小学校、中学校、高校からの学校訪問を積極的に受け入れており、改善項目となっている。

### 【委員からの意見】

- ・地域のイベントには積極的に参加して頂いている。地域貢献活動やボランティア活動を通して、地域のために活躍する人材を意識して教育活動に取り組んで頂きたい。

## 7 管理運営 自己点検・評価項目

管理・運営体制に関する評価項目については、殆どの項目が適切であるが、文書の受信簿が完備されていなかったため平成26年度内に公文書管理ルールを定め文書管理を徹底していく。

## 8 財務 自己点検・評価項目

法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。

## 9 改革・改善 自己点検・評価項目

自己点検・評価を実施して全職員への共有機会を設けている。改善点への対応については、期限があるものについては速やかに対応し、それ以外は継続的に改善へ向けた対応を進めることとする。

次年度の学校評価については、自己点検を速やかに実施し、学校評価委員とともに改善項目の取り組みについて継続的に確認を行うこととする。

以上。